

平成 30 年 4 月 第二回定例記者会見

平成 30 年 4 月 16 日（月） 9 時～

市長公室

○参加報道機関（敬称略）

信濃毎日新聞社飯田支社、朝日新聞飯田支局、毎日新聞飯田通信部、中日新聞飯田支局、
南信州新聞社、NBS長野放送飯田支局、ICTV(株)飯田ケーブルテレビ

○会見内容（敬称略）

進行【秘書広報課長】

1 開会

2 市長あいさつ

本日は 2018 ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージの開催、平成 30 年度市政懇談会の開催、
菱田春草筆《富嶽》の寄贈、第 2 回“コト”からつくるリニア駅ワークショップの開催、以上 4
件について発表させていただきます。

3 発表事項

(1) 2018 ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージの開催について【産業経済部】

資料にもとづき説明

説明者：観光課

〈質疑応答〉

南信州新聞

TOJ アンバサダーはどこでレース解説を行いますか。

飯田市

松尾総合運動場の大会本部でレースを解説していただきます。また、会場にお越しの方と交
流していただいたりする予定です。

南信州新聞

ボンシャンス選手のパレード走行が、3 年ぶりとなるのはどうしてですか。

飯田市

前回、前々回もボンシャンス側と調整をさせていただきましたが、海外遠征などと重なり実
現しませんでした。

南信州新聞

パレード走行の一般参加希望者は、自転車が必要ですか。

飯田市

ご自分の自転車で、ヘルメットをお持ちいただき、参加していただきます。

(2) 平成30年度 市政懇談会の開催について【市民協働環境部】

資料にもとづき説明

説明者：ムトスまちづくり推進課

〈質疑応答〉

なし

(3) 菱田春草筆《富嶽》の寄贈について【教育委員会】

資料にもとづき説明

説明者：教育長、美術博物館

教育長

昨年度より春草の常設展が始まりましたが、毎月1,000人を超える皆さんがご覧になっていただくなど、順調にスタートしました。そんな中で、今回新たに寄贈いただく作品がありますので、それについて発表させていただきます。

〈質疑応答〉

長野放送

今回寄贈を受けることとなった経緯を教えてください。

飯田市

先方から直接お申し出があり、寄贈いただくことになりました。寄贈いただいた菱田厚さんからは「作品が行くべき所へ落ち着いてほしい。」とおっしゃっていただきました。

飯田市長

もともと春草に関係される皆さんとの交流を美術博物館は大事にしてきて、これまでも貴重な作品を寄贈いただいたりしてきました。今回寄贈いただいた方とは、特別に親しく交流させていただいてきたというわけではありませんでしたが、私どもの春草への取り組みを評価いただいたのではないかと受け止めています。これからもこうした関係を大事にしていきたいと思っています。

南信州新聞

修復するとのことですが、現在の状態を教えてください。

飯田市

大きな折れや、カビによるものと思われるシミなどがあります。

南信州新聞

寄贈された菱田厚さんはどういう状態で作品をお持ちになっていたのでしょうか。

飯田市

保管されていたようです。

信濃毎日新聞

美術作品としての評価はどのように考えていますか。

飯田市

出品作ではありません。また、かなりの金額で依頼されて描かれたような大作でもありません。ですが、手を抜いた作品では全くなく、その時自分が得意としていた画風を盛り込んだ作品になっています。弟のために気持ちを込めて描いた佳作、良品だと思います。

信濃毎日新聞

春草と唯蔵との関係を教えてください。

飯田市

春草は明治7年生まれ、弟の唯蔵は明治14年生まれです。唯蔵は東京大学に進学しますが、春草の自宅に下宿しました。学費も春草がかなり出していたようです。

信濃毎日新聞

唯蔵のご遺族のお宅から美博に作品を寄贈されるのは今回が初めてですか。

飯田市

初めてです。

飯田ケーブルテレビ

初公開の時期が先になるのは、修復に時間がかかるからということですか。

飯田市

そのとおりです。

(4) 第2回“コト”からつくるリニア駅ワークショップの開催について【リニア推進部】

資料にもとづき説明

説明者：リニア推進部

〈質疑応答〉

南信州新聞

ワークショップのテーマを教えてください。

飯田市

第1回目のワークショップでは基本計画までの振り返りを行いつつ、基本設計を行うにあたって大切にしたいこと、どういったことをやりたいかといったことなどを議論いただきました。例えば、「地形や地域の文化を大切にしたい」「音や臭いなど、五感に訴えるような駅にしたい」「来訪者に併せて地域住民にも利用してもらえるような駅の機能を持たせたい」「家族連れや学生など若い世代も過ごせる場所にしたい」などといった意見をいただきました。第2回目は、特に駅下の空間や交流広場、魅力発信施設など大まかな機能配置について、提案をさせてもらいながら意見をいただきたいと思います。

毎日新聞

第1回目のワークショップは冒頭のみ公開でしたが、今回は全体が公開ですか。

飯田市

前回は第1回目ということや、高校生の参加もあったことなどから、ワークショップの公開の仕方を模索しながら行ったため、冒頭のみ公開とさせていただきましたが、今後のワークショップは基本的に全て公開で行いたいと考えています。

毎日新聞

毎回メンバーを公募すると意見の集約も難しくなるのではないですか。

飯田市

前回出席いただいた皆さんには、今後のワークショップについてもご案内をしていきたいと考えており、さらに新たな皆さんにも参加いただきたいと思います。新たに参加いただく方にも、これまでの経過やワークショップ議論などを振り返りながら進めていきたいと思っています。

4 その他

なし

この内容については、言葉遣いや言い回しなどを整理した上で作成しています。

(作成：秘書広報課広報広聴係)